

**日程第18 議案第16号 令和3年度橋本市
一般会計補正予算（第5号）に
ついて**

○議長（小林 弘君）日程第18 議案第16号
令和3年度橋本市一般会計補正予算（第5号）
について を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）おはようございます。

追加提案させていただきました議案につい
てご説明申し上げます。

議案第16号 令和3年度橋本市一般会計補
正予算（第5号）は、新型コロナウイルス感
染症対策のための予算で、一般会計の総額と
いたしまして6,608万2,000円を増額補正す
るものでございます。

民生費の生活困窮者自立支援金支給事業に
要する経費では、新型コロナウイルス感染症
の長期化に伴い、国の補助事業である生活困
窮者自立支援金の支給申請期限が令和3年8
月末日から3か月延長されたことに伴い、支
援金支給事務などのため、会計年度任用職員
を令和4年3月末日まで雇用するための経
費78万2,000円を予算計上いたしました。

また、商工費の商工振興に要する経費では、
地方創生臨時交付金（事業者支援分）を活用
し、飲食業を中心に長引くコロナ禍で大きな
影響を受けている事業者に対して、事業継続
のための給付金を支給するとともに、橋本市
生活応援クーポン券に加盟している市内事業
者を対象に、感染拡大を防止し、安心して訪
れることができる店舗とするための衛生環境
関連品の購入に対する奨励金など、総額6,530
万円を予算計上するものでございます。

議員各位にはよろしくご審議の上、ご賛同
賜りますようお願い申し上げます。

○議長（小林 弘君）市長の説明が終わりま
した。

これより質疑を行います。全般について行
います。

質疑ありませんか。

16番 田中君。

○16番（田中博晃君）よろしくお願いいたし
ます。商工費のほうなんですけれども、まず、
従業員の定義はどういったことになっており
ますか。

それと、今、県のほうでも補助金を出され
ておりますけれども、それと両方取ることが
できるのかという点。

3点目が一番聞きたいところなんですけれ
ども、既に県のほうで許可が出た場合に、市
にまた改めて申請する等になって、書類上の
手間であったり、こういうのってやっぱりで
きるだけ早く手元に届くのがいいと思うん
ですけれども、その辺りについて、県の書類を
そのまま流用できるのかといった点について
質問いたします。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）議員のおた
だしについてお答えさせていただきます。

まず、従業員につきましては、労働基準法
第20条の規定に基づく、あらかじめ解雇の予
告を必要とするものとなります。例えば、家
族経営の店舗の場合で、雇用契約がない場合、
家族従事者は従業員数には含めることはでき
ません。また、法人の場合、役員は従業員と
して含めることができないということになっ
ています。

県の制度との重複受給ですが、もちろん可

能でございます。ただ、県の制度は、第1期、4月から6月、それから第2期、7月から9月というふうに2度の給付になる予定ですが、本市の場合は、市の制度として1度の給付になりますので、ご理解いただきたいと思います。

なお、申請等について、現段階で、9月24日、直近の数字でございますが、県への申請が約246件確定してございます。そういった事業所には早急に給付できるよう、事務的な手続きをより簡素化して行いたいと思っています。

以上です。

○議長（小林 弘君）ほかにありませんか。

12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）よろしくお願ひします。

単刀直入に申し上げますと、前に私、この関連に近いもので一般質問させていただいて、ご答弁で、国からまたありましたら、国に要望してまいりますというお話やったと思うんです。それで、たまたまこれが出て、ちゃんとしていただいておりますというのは一定評価と感謝申し上げます。

片や、ふるさと納税でどかんとにぎわった高野町とか、その下のかつらぎ町なんかは、ふるさと納税とか飲食店、サービス業などに町の単費で支援しとるという事実もあるように聞いております。

そこでお伺いするんですけど、これはこれで気持ちよく賛成するもので質疑のしようがないんですけども、コロナ、右肩下がってきておるように報道とかでは感じるのも事実でありますけども、今後、市単費であったり、ふるさと納税であったり、そういう市の中で使えるお金でプラス、さらなる支援とか助けたいこうとか、当然他府県からまた入ってくるように和歌山県の動きもございまして、そういった動きとか今後についてのお考えは

いかがですか。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）6月議会において、12番、堀内議員のほうからご質問いただいたとき、事業所の皆さんも来られている中で、制度的なものをできないという答弁をさせていただいて、非常に心苦しく思っている中で、今回、国のほうから感染症対応の地方創生臨時交付金が交付されて、それを活用して制度化できるというのは、私たちにとっても非常によかったというふうに思っております。事業所の皆さんに、先ほど16番議員からもご質問ありましたが、早急に手元に渡るように進めていきたいと思っております。

今後ですが、現状、市単独でということ是非常に難しいというふうに考えておりますが、今後新たに国から臨時交付金等が来る暁には、総合的にどういった事業を具体化できるかというのを改めて考えたいと思っておりますので、ご理解いただきたいというふうに思います。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）財布事情もしんどので、部長の答弁もそれはそれで正しい答弁だと思うんですけど、かつらぎ町もそんな財政は潤ってないと思うんです。新しい町長がご就任されて、町民を身近に感じて、やっぱり僕が言いたいのは市場調査です。多分向こうは今現状、観光のサービスとか観光とか飲食、この人たちを一件たりとも潰してはいけないという理念と信念の元にお隣の町は、うちの市長もそれは持ってくれと思うんやけども、ただ、その裏付けた根拠として、あれから、ほんなら、シティセールスの担当課は、僕の一般質問から今日まで、引き続き市場調査を当然していますよねということ、これを1個伺いたい。

やはり県の売上げが前年度、前々年度から下がったところに対してというルールの下で、

キャッシュ、お金、設備投資であつたりとかあると思うんですけど、キャッシュは申請者が入ってきたら大変ありがたいものです。でも、今回の県のやつとかコロナ対策の設備投資で4分の3、上限で30万円って、こういうやつがあるんですけど、結局お金なくて苦しいところに100%、10分の10といったら一番楽なんですけど、一定自己資金を出さなあかんというルールも分かるんですけど、しんどいところに4分の1負担せえというのは、ほんましんどいんです、はっきり言うて。空調とか空気清浄機、いろいろ項目あつたと思うんです。お客さんが来るのに対して、設備投資するのに4分の3出します。単純に言うたら、消費税は入れへんで、44万円以上の設備投資、例えばエアコンなどを変えたときに空気清浄機を買ったら30万円後から還付します。ほんまに財政がしんどい市役所やったらよう分かると思うんですけど、お客さんが入ってけえへんで、日銭が入ってけえへん飲食店は、44万円立て替えて後から30万円還付するって、これ、どれぐらいしんどいかというのを市場調査されとるんかという話なんです。だから、市民目線に立って向き合えておるか、いつも僕が聞くの、そこなんですよ。もっと早うに聞いたらよかつたんですけど、それら、この二つの市場調査を行っているのかどうか、今後やってくれるのかどうか。

コロナもまた第6、第7といつ来るか分からへん。インフルエンザのように年間通して、またいずれ、そのシーズンがいつ来るか分からない。

○議長（小林 弘君）堀内君、本件予算に関しての質問でお願いしたいのですが。

○12番（堀内和久君）そしたら、これにあたって、過去に対しての、今日までの、今言うた市場調査、この2点、これは大丈夫ですか。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）議員からは再度にわたり、市場調査を行っているのかというご質問を頂いております。今、クーポンを活用していただいている事業所が約600店舗ぐらいになっております。クーポンの引換えに毎日のようにたくさんの事業所が窓口に来られます。直接職員がお店等に出向いてというのはできてないんですが、窓口に来られたときには、必ず事業所の様子とか、そういったところを今まで以上に綿密に聞き取り調査を行っております。

また、商工会議所、商工会等関係機関においても、より突っ込んだそれぞれの事業所の様子とかを聞き取りをさせていただいています。議員おただしのように、本来ですと個々店舗にということについては、今後、私たちとして、できるように考えていきたい、そんなふうに思っております。

○議長（小林 弘君）答弁もれ、指摘お願いします。

○12番（堀内和久君）そしたら、来ていただいた方には調査しとるけど、僕が望む市場調査、前の一般質問で言うたような他府県ナンバーが何ぼ入つとるとか、そういった市場調査はあれからしてないという答弁だと受け取ったらいいんですか。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）個々職員が飲食等で店舗に出かけたときに、そういった情報というのは、多く広く情報収集は行っておりますが、シティセールス推進課として調査を行うというふうな制度、形としては行ってないということです。ご理解いただきたいと思えます。

○議長（小林 弘君）ほかに質疑ありませんか。

6番 辻本君。

○6番（辻本 勉君）今のところなんですけ

ど、予算5,000万円と1,500万円ということで、これ、単純に計算したら、10万円が500店舗、3万円の事業サポート支援ということで、衛生環境関連品の購入にということなんですけれども、そういう解釈でええんかな。クーポンの取扱い店が600店舗以上あって、支援金の最低が10万円ということなんで、これで予算が足りるのかなという気持ちは持つとるんです。そのときになったら、これ、足らんなったらどうするねん。そこで打ち切るとか、継続支援給付金5,000万円で切ってしまうのか、足らんならまた補正を組むのか。衛生関連のほうはだいたいけるのかなという気はするんですけども、それも、生活応援クーポン券の取扱い店が600以上の店舗があるのに、3万円までいったら1,500万円で到底足らんという話にはなるんやけども、その辺、心配しているんやけども、足らんなら場合はどうするんやということなんです。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）議員のおただしにお答えさせていただきます。

まず、市内の事業所なんですけど、まず商工業者事業継続支援給付金につきましては、ゼロから5人の10万円というのは約400件ぐらいを想定しています。あと6人から20人、20万円は30件等で約600万円、それ以上のことについて、合わせて5,000万円ということです。

それから、衛生環境関連消耗品等整備奨励金につきましては、議員おただしのとおりで約500件を見込んでおりまして1,500万円ということになります。

もし予算が足らなくなったらということですが、これは総務部、財政部局と相談して、しっかりついていくというふうを考えております。

○議長（小林 弘君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小林 弘君）質疑ありませんので、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただ今議題となっております議案第16号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思いません。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小林 弘君）ご異議がありませんので、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論する方ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小林 弘君）討論がありませんので、討論を終結いたします。

これより議案第16号 令和3年度橋本市一般会計補正予算（第5号）について を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小林 弘君）ご異議がありませんので、本案は原案のとおり可決されました。

○議長（小林 弘君）以上で本日の日程は終わりました。

これにて本議会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

○議長（小林 弘君）閉会にあたり、市長から発言の申出がありますので、これを許します。

市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）9月市議会定例会の閉会にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げ

ます。

議員各位におかれましては、9月6日の開会から本日までの23日間にわたり、ご提案させていただきましたいただきました議案等の全てに対し慎重なるご審議を賜り、厚くお礼を申し上げます。審議の過程で頂いたご意見、ご指摘等につきましては、今後、十分にその意を踏まえ、市民の皆さまの信頼に応えることができますよう検討してまいります。

まず、長年の歳月を経て、中心市街地第一地区土地区画整理事業が竣工を迎えました。途中、事業の見直し等を行い、施工地区を縮小することになりましたが、地元地区の皆さまのご理解、ご協力の下、都市計画道路や区画道路、公園、下水道など公共インフラの整備とともに、国道24号の整備、紀の川護岸整備や橋本川河川改修事業が完成し、安全で快適な住環境が整備されました。審議会委員の皆さまには、適正な事業の推進のため長年にわたりご尽力を頂きましたこと、また、地元区をはじめ関係者の皆さまのご理解、ご協力を頂きましたことに、心からお礼を申し上げます。

橋本駅前の活性化につきましては、ホテル誘致等について検討を進め、取り組んでまいります。

厳しい暑さも過ぎ、実りの秋、文化・スポーツの秋を迎えます。さわやかな秋晴れの下、人々との交流会やその年の実りを評価する地元産品の展示・販売イベントなど、各地域が一年で最もにぎわう季節です。修学旅行や運動会・体育祭などは新型コロナウイルス感染防止策の徹底と感染時期や行き先など十分検討し、感染拡大状況などを考慮の上、子どもたちの心に残る学校行事となるよう、柔軟な対応により実施していきます。

また、市のイベント等につきましては、昨年度の経験や感染状況を踏まえ、現在のところ、

すこやか橋本まなびの日や市民総合体育大会、市民総合文化祭の実施を予定していません。

また、10月から11月にかけて、第36回国民文化祭・わかやま2021、第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会が開催されます。市内開催事業として、「幽玄の高野へ〜狂言と尺八で辿る祈りの道〜」、「きものの祭典 in 橋本〜和を感じて・和を紡いで〜」を開催、橋本狂言会の方々や尺八演奏者の辻本好美さんが出演されます。

また、すこやか橋本まなびの日において橋本市ふれあいフェスタを開催し、障がいのある方々による踊りや太鼓の演奏など、これまでの活動や練習の成果が発表されます。

議員各位におかれましても、ぜひご来場またご観覧いただき、様々な文化に触れ、親しんでいただきたく思います。

来る11月12日に、待望の杉村やすらぎ広場の遊具広場が開園となります。大勢の方が集い、利用してくれることと思います。大型遊具では、ダイナミックな遊びの体験や健康器具を利用した運動不足の解消など、子どもから大人まで幅広くご利用いただくことができます。隣接する杉村公園の四季折々の自然とともに、本市の憩いの場として皆さまに愛され、末永くご利用いただければと思います。

さて、間もなく令和4年度の予算編成に取り組んでまいります。まず、10月には実施計画の審査により各部の事業を精査し、今やらねばならないこと、また将来に向けて取り組むべきことを職員とともに考えてまいります。11月には国への陳情活動も予定しており、本市の事業を確実に進めるべく、国の事業や補正予算等について情報を収集し、財源の確保に努めたいと考えています。

財政健全化に取り組んだ5年間の成果は、議員各位をはじめ、市民の皆さまのご理解と

ご協力の賜物であると心より感謝いたします。そして、これまで一緒に努力を重ねてくれた職員とともに、これからも5年先、10年先の未来を見据え、行政を進めてまいりたいと思います。

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化し、医療や保健衛生、また地域経済、教育、保育など、多方面にわたり大きく影響を及ぼしています。希望者へのワクチン接種をできるだけ早急に進めるとともに、国や県に対して積極的な働きかけを続け、感染症対策、支

援策について、引き続き検討してまいります。

朝夕はめっきり涼しくなり、秋の訪れを感じる今日この頃です。議員各位におかれましては、健康に十分留意いただき、市政発展のため、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。閉会のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（小林 弘君）これにて、令和3年9月橋本市議会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

（午前10時13分 閉会）